平成 30年3月7日

研修報告書

氏名：日野香織

所属：愛媛大学医学部附属病院　小児科

研修期間：平成29年　4月1日　～　平成30年　3月　31日

研修場所：東京女子医科大学　附属遺伝子医療センター

受講動機：

平成28年度にNGSD専攻医研修を受けさせていただき、遺伝医療の最先端を肌で感じることができました。私の場合、専攻医研修は終了しましたが、専攻医時の研究を継続すること、また今後地元で遺伝医療を行うにあたり、地方都市で患者さんのニーズに合った十分な遺伝カウンセリングを継続していくことができる体制を整えるために、また研修で得られた知識、経験をどのように生かしていくか、という形を模索するために、引き続き最先端の病院での症例の経験や、実際の症例に対するご指導をいただきたく応募しました。

研修内容：

　不定期となりましたが、遺伝カウンセリングや研究内容に対する面談・メールでのご指導、症例についてはプライバシーに十分に配慮した上でご相談し、手厚くご指導いただきました。昨年度の陪席主体な研修から、より実践的な研修をさせていただきました。

研修成果：

　専門研修を離れ一般小児科診療を行う中での、より実践的な遺伝医療的視点を身につけることができました。一方で、小児科診療と一線を画しての、遺伝カウンセリングや遺伝医療の存在の重要性を再認識することができました。

その他（感想・要望・反省点、等）：

　専攻医研修に引き続きインテンシブコースの研修を受けさせていただいたことにより、小児科診療の中で、遺伝医療の重要性・必要性を常に感じながら、臨床遺伝専門医を目指すものとしての新たな視点を磨くことができたと感じています。一方で、遠方のため初期の予定より面談でご指導をお願いする時間が十分に確保できなかったことが反省点として挙げられます。ご多忙にも関わらず、先生方が快く手厚いご指導をくださいましたことを心より御礼申し上げます。